

宮沢 仁朗

みなさんは、「ダイ・ハード」などの人気アクション映画への出演で知られる米国の俳優ブルース・ウィリスさんをご存じのことと思います。実は昨年3月に家族が、ウィリスさんが失

ハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症について頻度が高い認知症原因疾患なのです。前頭側頭型認知症はいくつかのタイプに分類されており、ウィリスさんは側頭葉と左前頭葉後部の障害による失語症を初期に呈していて、

病気で、認知症は高齢者に多い疾患ですが、このピック病は比較的65歳未満の初老期に多いと言われています。主に前頭葉と側頭葉の前部に「ピック球」とい

に、理性の源でもあるので、ですから前頭葉の機能が損なわれることによつて、今までの本人からは考えられないような行動に発展します。例えば、持ってい

医療・福祉NOW

語症を患っており俳優を引退することを発表しましたが、1年もたたない今年2月に、失語症が進行して前頭側頭型認知症と最終診断されたことが公表されました。

前頭側頭型認知症は四大認知症のひとつで、アルツ

進行に伴い物忘れが増強するタイプの病気と言われています。具体的には、滑らかに話すことができず言葉に詰まる、物の名前が出てこない症状が特徴的です。そして前頭側頭型認知症のタイプで8割を占めているのがピック病という

う球状の異常なタンパク質が多く出現し、同領域が萎縮してきます。前頭葉は思考やプログラミングの役割を担うことも

▶ブルース・ウィリスさんが...



るにもかかわらず同じ文房具を多数万引する、盗み食いをする、勝手に他人の家に入り込むなど、理性が低下し自己本位で社会通念

(亀田北病院院長)